

「みんなで作る希望に満ちた滝沢」の実現!

19年度予算決まる 前年比5.6%増

19年第30回3月定例会は、2日から19日まで開催され、初日には19年度村長施政方針演説が行われました。

審議の結果は、議員提出議案3件、村長提案の一般会計補正予算、予算審査特別委員会に付託された19年度各会計の当初予算をはじめ、条例の制定、改正など全42議案が可決となりました。

同意1件は、空席となっていた副村長(旧助役)に菅原芳彦氏(岩手県より派遣)が同意されました。

請願2件はそれぞれ所管の常任委員会に付託され、1件は採択、もう1件は不採択となりました。

一般質問は、3会派代表と議員9人計12人が登壇し各分野に活発な議論を展開しました。

村長施政方針要旨

住民の皆さんが求める将来像の実現のため、限られた財源を有効に活用しながら、豊かさを実感するための計画的な将来投資を進めます。

少子高齢化が進む中、私は、生活者の視点、特に、子どもとお年寄りの視点を大切に、これからの社会を担いながら、地域社会で成長し、次世代の子どもを育てていくという、未来に希望が持てる地域社会を築いていくことが、大切であると考えています。

これまで以上に、生活者である住民の皆さんの暮らしの現場に接する機会を増やし、心からの対話をし、ともに考え、ともに行動することで目に見える成果を一つずつでも生み出し、その成果を住民の皆さんと検証しながら共有していきたいと考えています。

重点政策・基本政策	主な実現化策
産業が元気なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 産地直売施設の設置に対する支援 企業立地への新たな優遇措置 地域職業相談室の機能強化 シルバー人材センターへの支援
自然と共生するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 零石町一般廃棄物の受け入れ ごみの減量化、資源循環型社会の形成 自然の適正管理、保全
元気に暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診受診率の向上 食生活改善推進員の養成 障害福祉などの相談体制の拡充 介護予防策の実施
子育てしやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 育児支援事業、乳幼児検診による支援 経済的支援の継続 放課後児童クラブ施設の改善
安全で安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成と拡充 子ども見守り活動への支援 高齢者、児童生徒の交通事故防止
永く暮らし続けられるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 菓子駅線などの道路整備 村道改修、マイロード支援事業の推進 合併処理浄化槽への設置補助 安全でおいしい水の安定供給
安心して利用できる交通網の確保	<ul style="list-style-type: none"> 国道、県道整備に対する要望 舗道の整備
次代を担う人を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 国語漢字力の向上 放課後学習支援 学校適応相談員など相談体制の拡充 学校図書の実践
自己実現を支援	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに合った学習機会の提供 芸術文化活動の振興 情報共有の充実
住民に信頼される行政をめざす	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修など人材育成 (仮称) 行財政改革プログラムの策定

19年度一般会計予算

反対 討論

武田 猛見 議員

私たちの暮らしは、政府が言う景気回復の声とは程遠く、貧困と格差がますます広がっています。村長は、施政方針で「生活者の視点、特に、お年寄りへの視点を大切に」としてあります。

しかし、それぞれの分野における方針は出しているものの、具体的な施策または事業の展開がみられません。今、村民が置かれている状況や村長に対する要望を考えたとき、継続にとどまることなく、積極的に予算化すべき事業があったはずですが、よって反対します。

賛成 討論

鎌田 忍 議員

厳しい財政状況のなか、投資的経費を前年対比52.5%増とし、一般会計予算全体も6.1%増と積極的な予算編成になっています。

契約の締結

平成 18 年度村道畜産試験場柳沢線 交通安全施設(歩道)設置工事請負変更契約

変更契約金額 / 5,866 万 7,700 円 (91 万 7,700 円の減)
契約の相手方 / 樋下建設㈱

滝沢南中学校北校舎建設(建築)工事請負変更契約

変更契約金額 / 6 億 7,231 万 6,050 円 (451 万 6,050 円の増)
契約の相手方 / ㈱奥村組・昭栄建設㈱特定共同企業体

滝沢南中学校北校舎建設(電気設備)工事請負変更契約

変更契約金額 / 1 億 4,914 万 9,350 円 (4 万 9,350 円の増)
契約の相手方 / 岩手電工㈱・三上電業㈱特定共同企業体

滝沢南中学校北校舎建設(機械設備)工事請負変更契約

変更契約金額 / 8,330 万 9,100 円 (56 万 9,710 円の増)
契約の相手方 / 富士水工業㈱・㈱岩水特定共同企業体

18 災道路災害復旧(第 121 号、第 123 号、付帯) 工事請負契約

契約金額 / 1 億 1,655 万円
契約の相手方 / 日本道路㈱ 岩手営業所

18 災道路災害復旧(第 122 号、付帯)工事請負契約

契約金額 / 5,460 万円
契約の相手方 / 東亜道路工業㈱岩手営業所

18 災道路災害復旧(第 198 号、第 450 号、第 451 号、 第 454 号、第 455 号、付帯)工事請負契約

契約金額 / 6,720 万円
契約の相手方 / 世紀東急工業㈱岩手営業所

18 災道路災害復旧(第 199 号、第 202 号、第 439 号、 第 444 号、付帯)工事請負契約

契約金額 / 7,350 万円
契約の相手方 / 鹿島道路㈱盛岡営業所

18 災道路災害復旧(第 438 号、第 445 号、第 446 号、 第 447 号、第 449 号、付帯)工事請負契約

契約金額 / 7,087 万 5 千円
契約の相手方 / 大成ロテック㈱岩手営業所

18 災道路災害復旧(第 38 号、第 39 号、第 52 号、第 203 号、
付帯)工事、平成 18 年度汚水滝沢駅前枝線その 11 工事、
平成 18 年度汚水滝沢駅前枝線その 12 工事請負契約

契約金額 / 4,357 万 5 千円
契約の相手方 / 三陸土建㈱

19 年度 予算

千円以下切り捨て

会計名		予算額	
一	一般会計	133 億 6,000 万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	40 億 4,448 万円	
	老人保健特別会計	30 億 7,958 万円	
	介護保険特別会計	17 億 5,074 万円	
	介護保険介護サービス事業特別会計	1,878 万円	
	雫石町・滝沢村介護認定審査会共同設置特別会計	1,353 万円	
	下水道事業特別会計	12 億 1,427 万円	
	農業集落排水事業特別会計	6,913 万円	
水道事業会計	収益的	収入	8 億 7,426 万円
		支出	7 億 7,291 万円
	資本的	収入	1 億 6,347 万円
		支出	5 億 658 万 6 千円

条例

(新規制定)

- 滝沢村副村長定数条例(総務常任委員会付託)
- 滝沢村廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例(教育民生常任委員会付託)

人事

- 滝沢村副村長
菅原 芳彦氏 (52 歳) 新任 同意
- 人権擁護委員候補者
大越 勲氏 (67 歳) 再任 適任見
- 人権擁護委員候補者
渡邊 京子氏 (58 歳) 新任 適任見

毎年厳しい財政運営の中で、改善策を講じ、努力をしていると思えますが、根本的な解決になっていません。国民健康保険税はどの医療保険よりも高く、それでいて加入者はどの医療保険よりも低所得者が多いのです。滞納者は依然として減る傾向はなく、むしろ村民から悲鳴があがっている状態です。保険制度を保障してこそ病気の早期発見、治療ができ、膨らむ医療費も抑制でき、負担能力に依りて皆で支え合うことが問題解決につながることと考えます。よって反対します。

反対論

桜井 博義 議員

19 年度 国保特別会計予算

雫石町の一般廃棄物の受入れは広域行政への取り組みであり、施設の有効利用にも繋がります。賛同できることは、企業誘致に向けた国土利用計画の策定、産地直売施設への取り組みです。また、シルバー人材センターへの積極的支援、通学路の安全のための歩道整備、学校開放による放課後児童対策の実施、公約である複合拠点施設への検討に入ることなどです。よって大いに期待し賛成します。